

高校世界史プリント（過去問類似）
中世（諸地域の交流） No.6

名前

得点

/10

問1 4世紀後半に始まった民族移動の波は、ヨーロッパ各地の政治的・民族的勢力図を大きく塗り替えた。この移動の一環として、5世紀半ばにアングル人やサクソン人などのゲルマン諸部族が北海を渡って定住し、先住民を圧迫してのちに七王国（ヘプタキーン）と呼ばれる小国家群を形成した地域はどこか。（2023年 全国公立入試 類似）

1. ブリテン島 2. コルシカ島 3. キプロス島 4. シチリア島

問2 10世紀後半に中国の王朝へ渡って皇帝太宗に謁見し、新版の『大蔵経』などを持ち帰って日本の仏教界に大きな影響を与えた、東大寺出身の僧は誰か。（2021年 全国公立入試 類似）

1. 裔然 2. 覺阿 3. 寂照 4. 成尋

問3 11世紀末に北イタリアに設立され、ローマ法などの研究で知られ、学生が教員の任免権を握るなど学生主導の自治運営が行われた中世ヨーロッパの大学はどこか。（2005年 全国公立入試 類似）

1. オックスフォード大学 2. サレルノ大学 3. パリ大学 4. ボローニャ大学

問4 唐の都である長安には、東西交易に従事したソグド人などの往来に伴い、様々な外来宗教の寺院が建立された。このうち、3世紀にササン朝で創始され、のちにウイグルの国教ともなった宗教は何か。（2020年 全国公立入試 類似）

1. ソロアスター教 2. マズダク教 3. ミトラ教 4. マニ教

問5 7世紀から11世紀にかけてスマトラ島南部を中心に栄え、マラッカ海峡などの海上交易ルートを支配した港市国家である。唐の僧である義浄がインドへの往復途上に立ち寄り、大乘仏教が盛んに行われている様子を『南海寄帰内法伝』に記したことで知られる、この国家の名称を答えよ。（2012年 全国公立入試 類似）

1. シンガサリ王国 2. マジャパヒト王国 3. ランサーン王国 4. シュリーヴィジャヤ王国

問6 16世紀初頭にイラン高原で建国され、オスマン帝国と抗争を繰り広げたサファヴィー朝は、自らの支配の正統性を強化するために、イスラーム教の特定の宗派を国教とした。この王朝が国教として採用し、現代のイランにまで続く国教の基盤となった宗派の名称を答えよ。（2010年 全国公立入試 類似）

1. シーア派 2. ザイド派 3. スンニ派 4. スナ派

問7 モンゴル帝国の第5代大ハンが、国号を元と定めた後に建設した、現在の北京の基礎となった首都はどこか。（2024年 全国公立入試 類似）

1. 開封 2. 大都 3. 洛陽 4. 長安

問8 唐代中後期、均田制の崩壊に伴って従来の府兵制が維持できなくなったため、新たに導入された、志願者による傭兵を用いた軍事制度を何というか。（2017年 全国公立入試 類似）

1. 衛所制 2. 募兵制 3. 府兵制 4. 屯田制

問9 13世紀後半のモンゴル帝国（元）の時代に陸路で大都（北京）に達し、フビライ・ハンに仕えたのち、海路で帰国したヴェネツィア出身の商人がいる。彼がジェノヴァの獄中で口述した旅行記には、長江デルタに位置し大運河による交易で繁栄していた蘇州の経済的活況などが生き生きと描かれ、当時のヨーロッパ人の東洋への関心を大いに高めることとなった。この旅行記の口述者である人物は誰か。（2024年 全国公立入試 類似）

1. ラッパーン・サウマ 2. プラノ・カルピニ 3. マルコ・ポーロ 4. モンテ・コルヴィノ

問10 百年戦争期のフランスにおいて、国王シャルル7世が諸侯の私兵徴募を禁止し、王権の強化と絶対王政の基礎を築くために創設した、戦時・平時を問わず維持される国王直属の軍隊を何というか。（2023年 全国公立入試 類似）

1. 傭兵隊 2. 騎士団 3. 封建軍 4. 常備軍

答え合わせ・解説 No.6

問1	答え 1 ブリテン島	5世紀半ば、アングル人、サクソン人、ジュート人などのゲルマン人が北海を渡ってブリテン島に定住した。彼らは先住民であるケルト系のブリトン人を圧迫し、ウェールズやスコットランドなどの周辺部に追いやり、島東南部においてのちに七王国（ヘプターキー）と呼ばれる小国家群を形成した。これがのちのイングランドの起源となった。
問2	答え 1 高然	平安時代中期の983年、東大寺の僧であった人物が宋（北宋）に渡り、第2代皇帝である太宗に謁見した。彼は宋で刊行されたばかりの『大蔵経』（一切経）や釈迦如来像などを日本に持ち帰り、その後の日本の仏教や文化に多大な影響を与えた。
問3	答え 4 ボローニャ大学	北イタリアの都市に設立されたこの大学は、ローマ法をはじめとする法学研究の拠点として栄えた。パリ大学などが教員組合主導であったのに対し、学生組合が主導する自治運営が行われたことが特徴である。
問4	答え 4 マニ教	ササン朝ペルシアでマニによって創始されたマニ教は、キリスト教やゾロアスター教、仏教を融合した二元論的な宗教である。ソグド人を通じて東方に伝播し、唐の都である長安に寺院が建立されたほか、モンゴル高原の遊牧民であるウイグルの国教となった。
問5	答え 4 シュリーヴィジャヤ王国	スマトラ島南部のパレンバンを中心に成立した港市国家であり、マラッカ海峡の海上交易を支配して繁栄した。大乘仏教が栄え、唐の僧である義浄がインドへの留学の往路と復路に滞在し、現地の仏教の盛況ぶりを記録した。同時期のジャワ島には大乘仏教のボロブドゥールを建設したシャイレンドラ朝が、タイには後にスコータイ朝が、カンボジアにはアンコール=ワットを建設したアンコール朝（クメール王国）が栄えた。
問6	答え 1 シーア派	サファヴィー朝の初代君主イスマイル1世は、スンナ派が多数を占めていたイランにおいて、自らの権力を正当化するためにシーア派（特に十二イマーム派）を国教と定めた。これにより、スンナ派を奉ずる隣国のオスマン帝国との宗教的・政治的対立が激化することとなった。
問7	答え 2 大都	モンゴル帝国のフビライは、国号を元と改め、現在の北京にあたる場所に新たな首都を建設した。これが大都であり、夏季の避暑地である上都とともに、元朝の二都体制の中核をなした。
問8	答え 2 募兵制	均田制の崩壊により、自作農を基盤とする府兵制の維持が困難となったため、唐は志願による傭兵を用いるこの制度を導入した。この制度のもとで節度使が私兵を養うようになり、後の安史の乱や藩鎮の割拠へとつながった。
問9	答え 3 マルコ・ポーロ	モンゴル帝国の成立によってユーラシア規模での東西交通路が安全に確保された結果、多くの往来者が現れた。ヴェネツィア出身の商人であるマルコ・ポーロは、元代の中国を訪れてフビライ・ハンに仕え、帰国後にジェノヴァとの戦争で捕虜となった際、獄中でルスティケロに自身の体験を口述した。これが『世界の記述（東方見聞録）』としてまとめられ、蘇州をはじめとする中国の都市の繁栄ぶりがヨーロッパに紹介された。
問10	答え 4 常備軍	フランス国王シャルル7世は、1439年の王令によって諸侯の軍事力を制限し、国王が直接雇用・維持する常備軍（騎士隊など）を創設した。これにより、封建的な軍事制度から脱却し、王権の強化と絶対王政への道が開かれた。